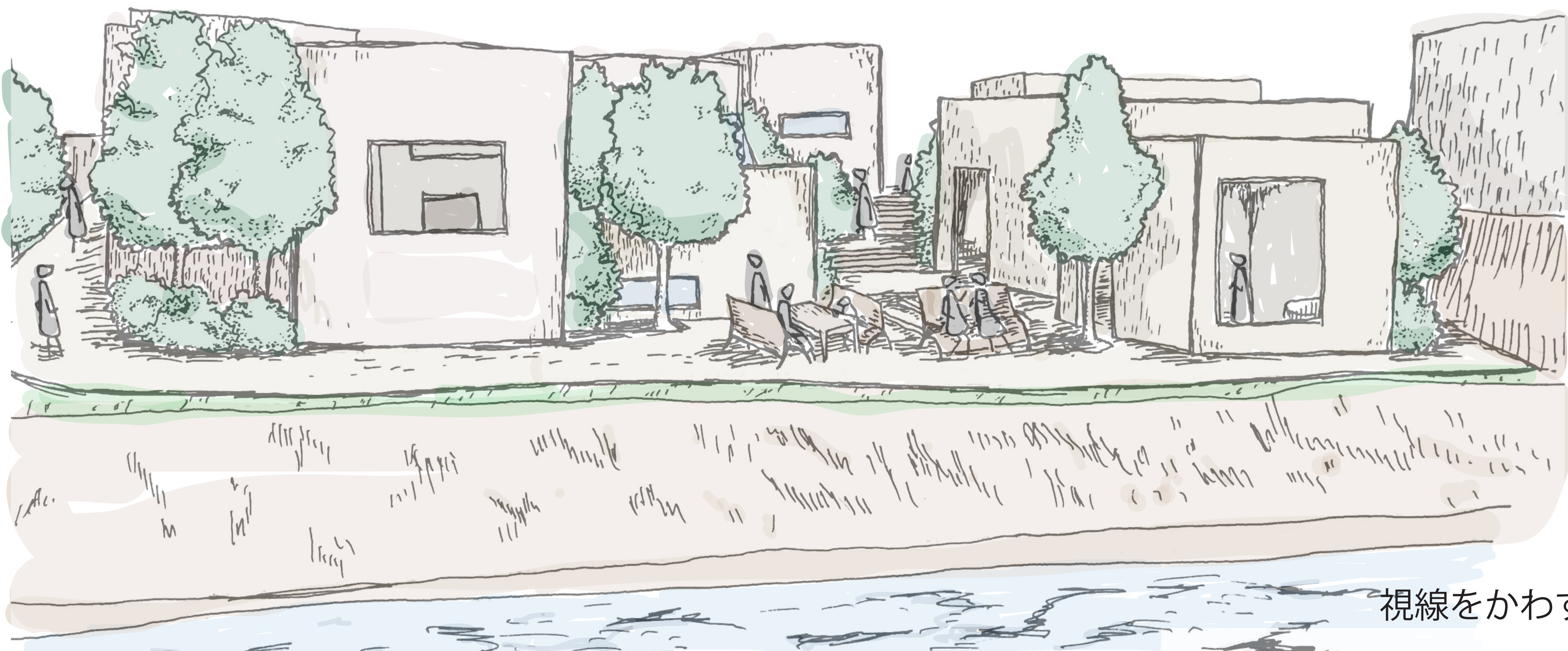
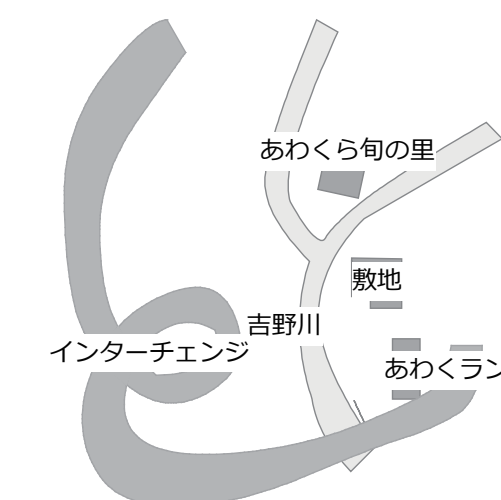




今回の計画敷地は道の駅、あわくらんの駐車場内にある。
あわくらんどを使う人はもちろん、ここはインターチェンジに近いため、
高速道路を走っていた運転手が休憩をする場所でもある。
敷地の横には吉野川や山に囲まれ、自然が豊かである。
また、あわくらんとあわくら旬の里の間にも位置する場所である。
この場所は橋を渡るが歩いていくことも可能である。



そこで、この公衆トイレを疲れた運転手のリフレッシュの場所であり、
あわくらんどからあわくら旬の里を散歩という手段で繋ぐ場所にしようと考えた。

Concept 視線を躲す

興味を持たせる

視線を通さないような通路にすることで先に何があるか期待させる
それにより、歩いてその方向に行くことを誘発させる

リフレッシュする

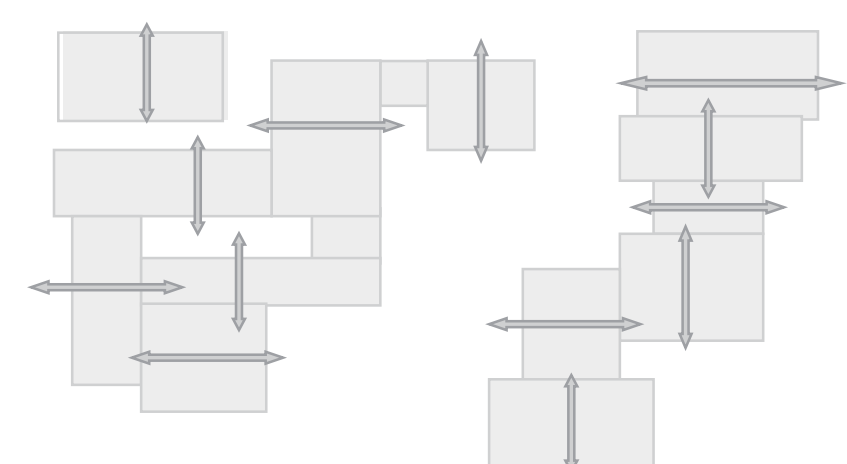
歩くことで周辺をゆっくり見渡せる。さらに運転と違ったゆっくりとした空間は
旅の疲れや日常を忘れさせてくれる

視線を遮る

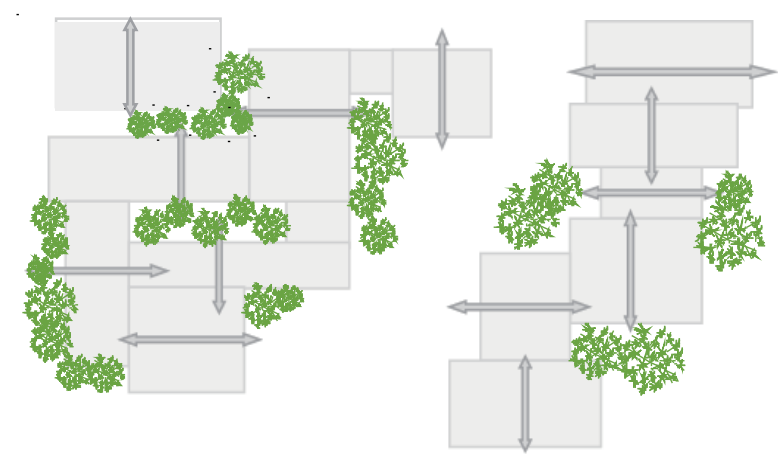
トイレという空間であるため、外とつながっている安心感や外への視線を通したいが、
プライバシーも守らなくてはならない
そのため、外からはプライバシーを守れるように視線を遮る工夫を行う

視線をかわす

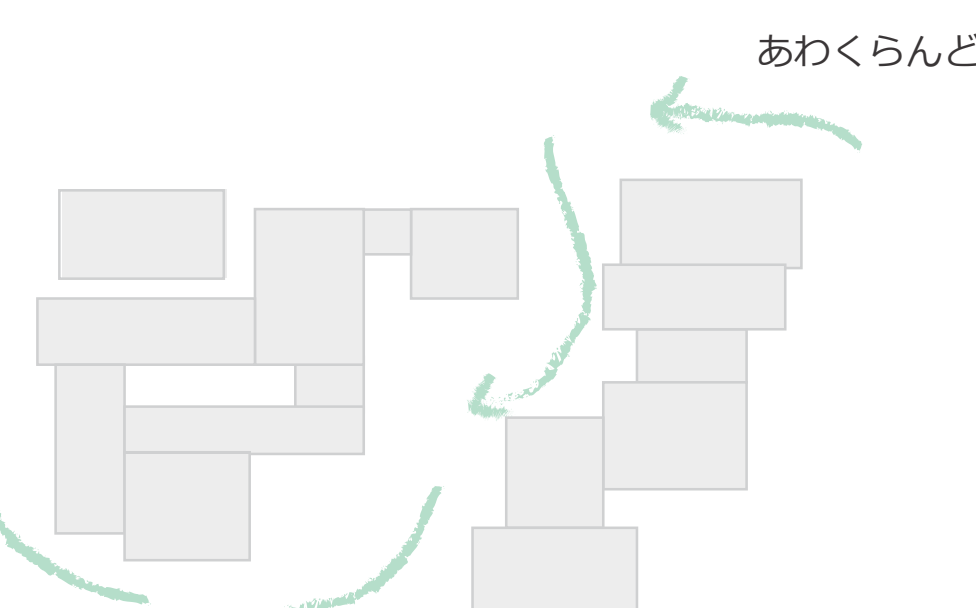
Diagram



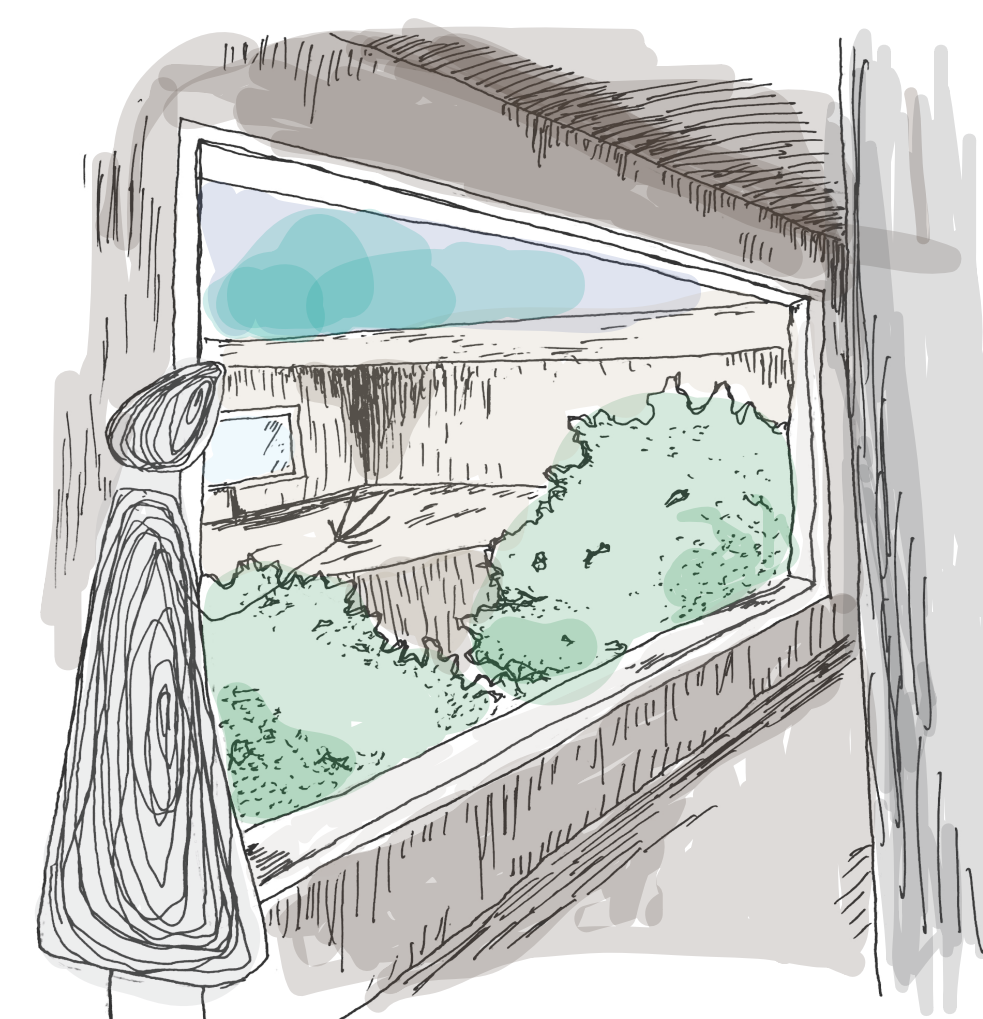
視界を遮るために部屋の
開口部や視線を通せる部分を交互にし直交にする



さらに、視線の先に植栽を置くことで
視線の緩衝材のような役割をさせる



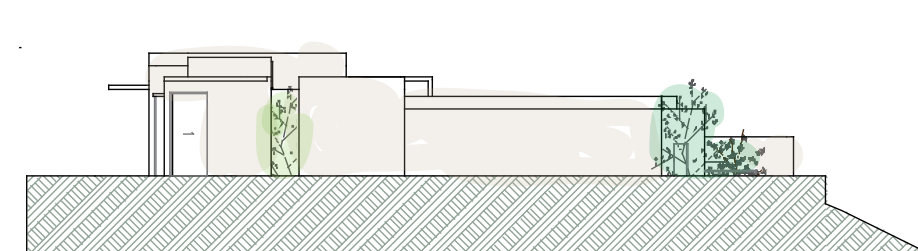
周辺を周遊させることでゆっくり景色をみせ
周辺に興味を持たせる
さらにあわくら旬の里に導くようスロープが
配置されている



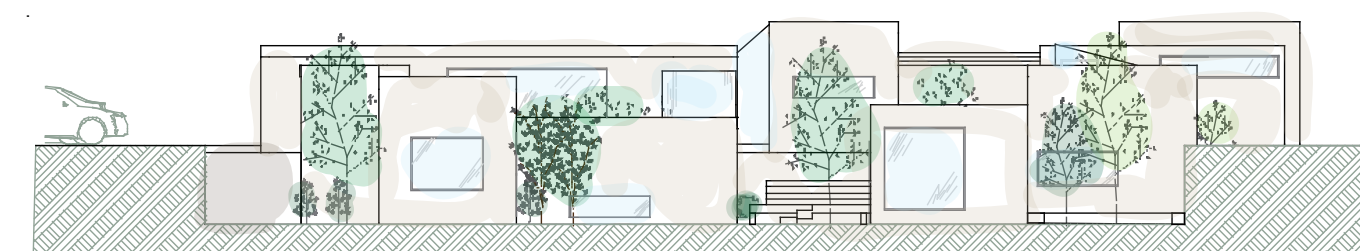
女子トイレの開口から臨む
中からは外が見えるが外からは見えない



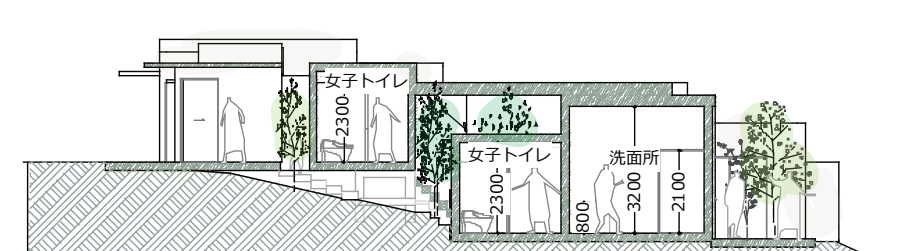
下りたくなる階段
視線を通さないことで下
に行きたい気持ちを誘発される
下りると吉野川が近くで臨める



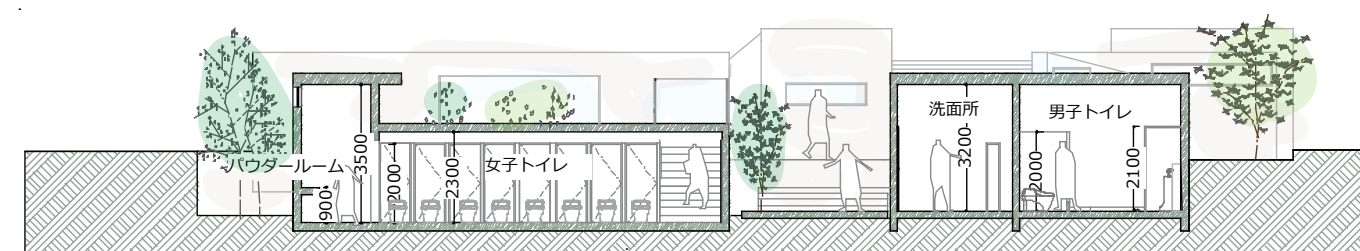
西立面図



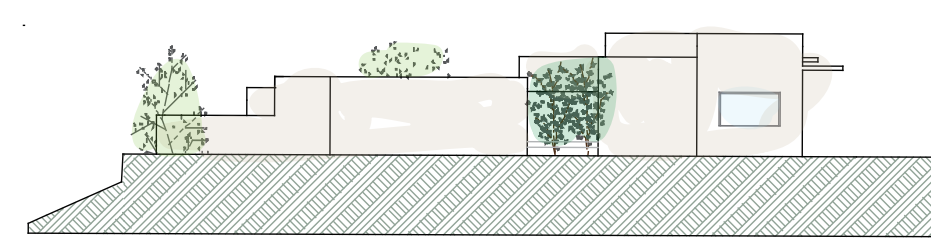
南立面図



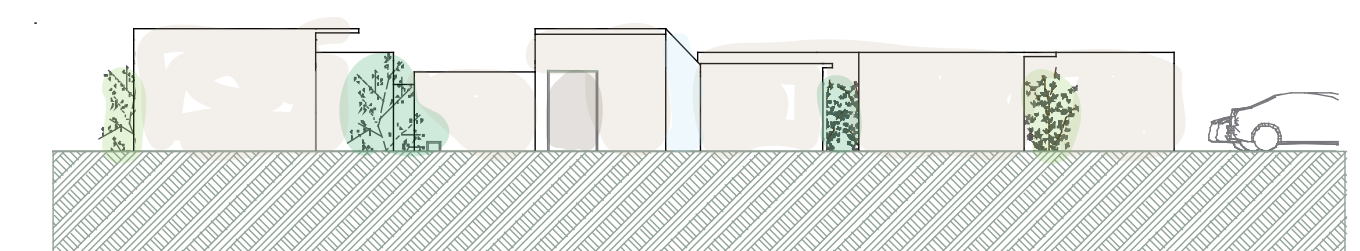
a-a断面図 1:100



b-b断面図 1:100

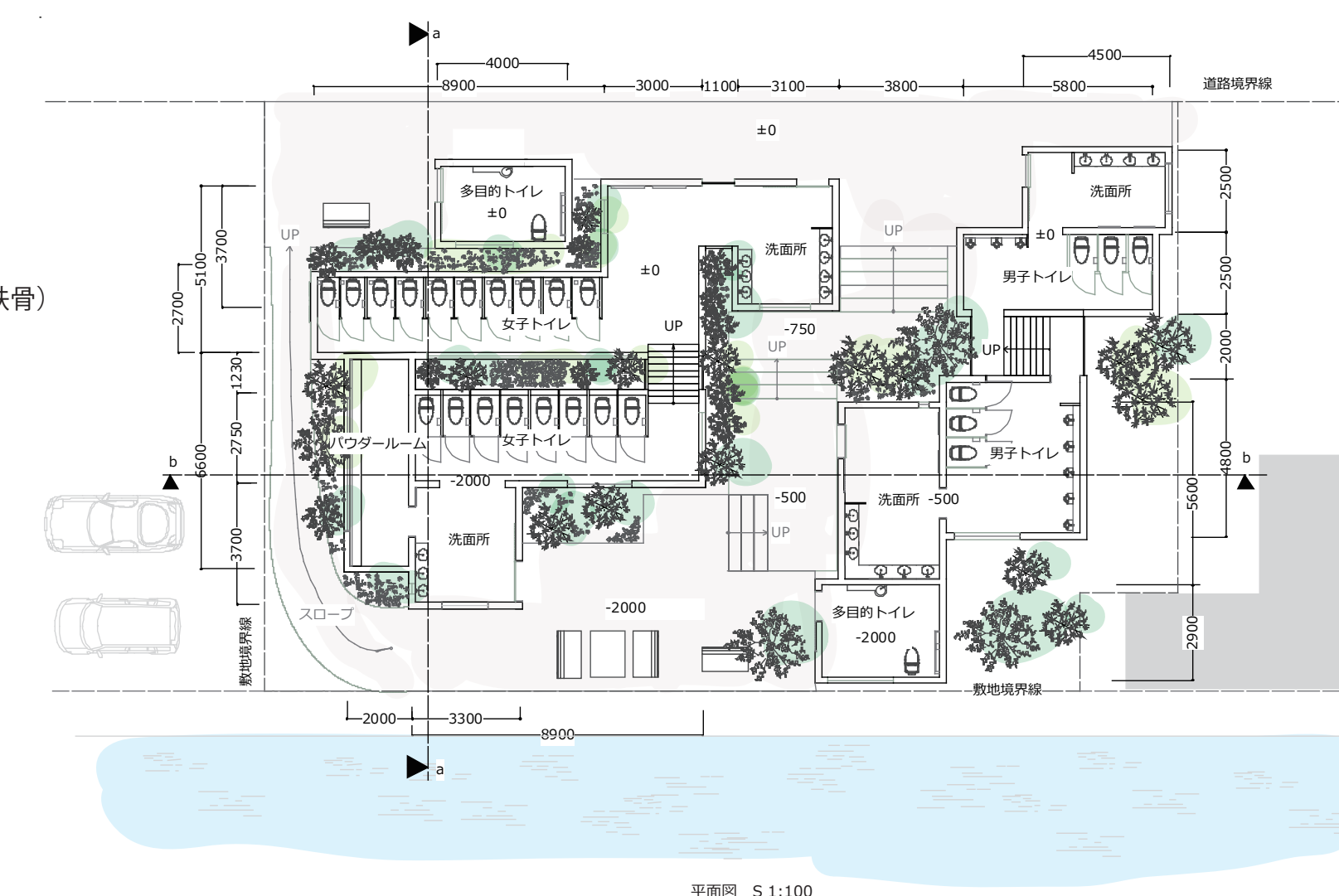


西立面図



北立面図

敷地面積 454.5m²
建築面積 187.09m²
延床面積 187.09m²
建蔽率 41%
工法 CLT（一部鉄骨）



平面図 S 1:100